

榲磨國所進など有る、膳所の用也、今は七月、御綱柏ホ、カシバ厚朴ホ、カシバ葉カシバびろ柏、青柏コナテ兒手柏、あから柏、あかめの玉祭にのみ、荷葉に食物もることのこれり、御綱柏、厚朴、葉カシバびろ柏、青柏、兒手柏、あから柏、あかめ柏、もも柏などの名、これにおこれり、かゞみ葉はかゞみ餅の類にて、葉の形の圓鏡に似たるゆゑの名とはじめはおもひつれど、さにはあらし、これは葉のつや、かなるを、明鏡のてりかゞやくにたとへし美稱なり、

〔和漢三才圖會八十七〕枹音 大葉櫟 檨櫟 榲磨 今云加之波略 中

本綱櫟有二種、一種叢生小者名枹、一種高者名大葉櫟、一名檨櫟、檨櫟者、婆婆蓬然之貌、俗稱衣物不整者爲檨櫟、此樹偃蹇、其葉芄芄搖動故也、

按上件之說混雜未審、今名加之波者、樹似榲磨而叢生、無高大者、性不堅、皮易剝、中心白微空、但爲薪耳、其葉婆婆厚潤、本窄中濶、末不尖、有大刻缺、不潤、以可裹粽、至冬凋落、花似栗花而短、凡一寸許、其實似櫛子而最小、苦澀不堪食、

〔重修本草綱目啓蒙二十一〕櫟實 ハ、ソノミ ハ、ソノミ 今呼ホ、カシバ ナラホ、ソノミ 和州ホ、ソノミ 備

同上 ホウソウガシハ カシハ モチガシハ ガシハ ギ 佐渡 マキ 雲州 ゴウゴウシバ 備

前 樹一名青杠楓訓蒙 所里真木本草

喬木ナリ、葉ハ櫟ヨリ長大、徑リ三寸餘、長サ六七寸、末廣シテ尖リ、厚シテ粗キ鋸齒アリ、互生ス、端午ニ糕ヲ兩葉ニハサミテ、カシハモチト云、春新葉生ジテ、後花穂ヲ出ス、栗ノ花ノ如ク小シ、枝梢ニ實ヲ生ズ、形苦櫛實ニ似テ大ナリ、蒂モ相似タリ、木ハ大ナレドモ材用ニ堪ズ、惟薪トナシテ上品ナリ、樹皮ノ藥用トス、赤龍皮ト云コト下ニ出ツ、世醫クヌギノ皮ヲ赤龍皮トスルハ非ナリ、一種オホボウソアリ、葉ノ長サ一尺餘、商州厚朴ホ、カシバ葉ニ似テ大鋸齒アリ、一種コボウソアリ、葉ノ長サ三寸許、其實長サ八九分、俗ニナガガシト呼ブ、一種コナラアリ、筑前ニテゴウボウシバト云、山中ニ多シ、高サ一二尺ニ過ギズ、葉ハコボウソニ同ジ、夏ノ初メ新葉ヲ生ジテ花アリ、實ハ櫛子ニ似